



小学校英語教育センター講師派遣事業 ～夏期研修会より～



令和4年8月2日（火）鳴門市，22日（月）阿南市の外国語夏期研修会にお招きいただきました。対面による研修会の開催が難しい時期が続いておりますが、それぞれの教育委員会担当者様に、連絡調整や感染対策等、多大なご配慮を賜り実施することができました。さらに長時間の研修会であるにもかかわらず、参加された先生方のご協力により、なごやかな雰囲気で行うことができました。

担任、あるいは専科として、外国語の授業に関わっている先生方がたくさんおられました。そこで児童の気持ちを体験できるように、ALTとの模擬授業を中心に研修を行いました。はじまりの挨拶、スモールトーク、言語活動につながるアクティビティ、振り返り等、ALTとのティームティーチングの在り方も考えていただきました。最近ALTにすべてお任せの授業というのはあまり聞かれませんが、逆に担任の肩に力が入り、ALTが置き去りになってしまったということがあります。指導者それぞれの役割や協力の仕方について、ひとつの例として体験していただけたかと思えます。

また、「言語活動」の重要性が浸透してきた今、歌やチャンツ、ゲームなどのいわゆる「練習」は、授業において主な活動ではなくなりつつあります。ただ、様々な児童と一緒に学ぶ教室では、実態を考慮しながら授業を組み立てていく必要があるでしょう。新しい語彙や表現に出合い、慣れ親しんでいく過程において、個々の児童の興味を喚起し、自信をもたせるための活動も必要であるかと考えます。研修会では「このことが言いたい」という児童の気持ちに寄り添うための活動例をいくつかご紹介させていただきました。

参加された先生方からは「言語活動に実践できそうな活動をたくさん知ることができてよかった。初めて会う人とも楽しく活動したり相手のことを知ることができたりするのは、外国語のすばらしいところだと思った。外国語の授業って楽しいなと思った。」「模擬授業から、実際どんなふうに授業を進めたらよいかがよく分かり、児童の気持ちも分かった。児童への声のかけ方、褒め方、言語活動への導き方など今後に生かしていきたい」などの感想をいただきました。

この度の研修が、先生方の授業に少しでもお役に立つことがあれば、これほど嬉しいことはありません。



【ALTとの模擬授業】



【研修会の様子】

（コーディネーター 竹内 陽子）

本年も多くのご依頼を受け、本学小学校英語教育センターのスタッフが、教育委員会、学校様主催の研修会等に参加させていただきました。

11月末日までのご依頼数は県内外で20件を越え、内容といたしましては、上記のような教員研修会の他、ワークショップ、指導案検討会、スピーチコンテストの審査など多岐に渡り、私共も、その都度、多くの学びをいただきました。改めて感謝申し上げます。

コロナ禍により、対面による研修会等の開催が難しい状況が続いておりましたが、徐々に、先生方や児童・生徒の皆様と、直接お会いできる機会が増え、とても有り難く、嬉しく思っております。

外国語教育を推進される中で、私共にお手伝いできることがありましたら、何なりとお声かけください。これからも、皆様とともに、外国語教育をもり立てていけたらと思います。



（特命准教授 佐藤 美智子）



小学校英語教育センター ポットラックセミナー

「新しい小学校外国語教育のカタチー新学習指導要領実施の成果と課題を踏まえてー」

2022年8月20日（土）の午後に、小学校英語教育センターポットラックセミナーを、同センター事務室（鳴門教育大学 人文棟5階）を本部に、オンライン形式で行いました。本セミナーは、前年度の2月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、延期され、半年を待っての開催となりました。セミナーの趣旨は、2つの実践報告とトークセッションを通して、今後めざすべき「新しい小学校外国語教育のカタチ」について、参加者のみなさまと一緒に考えることにありました。小学校教員を始めとする34名の方々が参加されました。

まず、1つ目の実践報告は、本学小学校英語教育センターが附属小・中学校と連携し、7年間（2014-2020年度）にわたって行ってきた研究プロジェクトで、小学校からの継続的かつ中学校での発展的英語教育プログラムの開発に関するものでした。附属小学校の青山祥子先生によるプロジェクト上半期（2014-2017年度）の小学校でのプログラム開発の概要報告に続き、附属中学校の福池美佐先生と藤滝香織先生から下半期（2018-2020年度）に行われた中学3年間の継続的な速読・多読活動についてお話しいただきました。そして最後に、附属小の青山先生から、プログラム開発後の取組について「外国語活動での指導と評価の一体化をめざして」と題してお話しいただきました。プロジェクトの期間中、外国語教育の政策やICT活用などの授業環境が進展し、プログラム開発の方向性にも柔軟性が求められましたが、小中接続をふまえた外国語教育のカタチを先駆的に探究し、その可能性を拓く取組であったと考えます。

次に、2つ目の実践報告では、宮崎市立西池小学校の岩切宏樹先生から「子どもが粘り強く言語活動を楽しむ授業をめざして」と題して、日頃のお取り組みについてお話しいただきました。具体的には、児童が達成感を感じ、学び続けられるよう、「漆塗り型」の言語活動を通して、「何のために」をくり返し確認させたり、ICTを活用して児童同士での解決を促したりするなど、授業におけるさまざまな工夫を紹介してくださいました。参加された皆さまも、岩切先生のお取組から授業改善のたくさんのヒントを得て、日々取り組んでおられる外国語・外国語活動の新しいカタチを考える機会になったと考えます。

そして、最後のトークセッションでは、参加者を3つのグループに分け、実践報告をされた先生方と直に気づきや感想等を共有していただく時間を持ちました。時間いっぱい活気に満ちあふれたひとときとなりました。

（センター所長・教授 山森 直人）



Website Makeover and New Material



New and Coming soon

- Please check out our Team Teaching Videos
ティームティーチングにおけるHRTとALTの役割
- We have created a Number of chants which are coming soon to the website.



We are making over our website for the first time in 15 years. We want to clean up some of the older material and make things easier to find. In the last two years, we have built up a video library of Team Teaching models. This year we started a library of chants and audio material. Please have a listen.

（准教授 ジェラード マーシェソ）

